

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆19日に1～3月GDP発表、2期連続のプラス成長視野 先行きは中東が影

・内閣府は19日、1～3月期の国内総生産(GDP)の速報値を発表する。輸出の増加がけん引役となり、2四半期連続のプラス成長となる公算が大きい。中東危機の影響はまだ軽微にとどまるものの、4～6月期以降の下押しリスクは高まっている。4月末に民間エコノミストに聞いた1～3月期実質GDPの予測平均は前期比で0.4%増、年率換算で1.6%増。

◆4月の消費0.8%増、家電消費伸びる カード決済データ

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく4月の消費データを発表。名目で前年同月比0.8%増えた。小売りが2.5%増と堅調。夏を前にエアコンなど家電の消費が増加。家電量販店などの機械器具小売業は10.3%増だった。スーパーも3.7%増と一定の伸びを示した。「中東情勢の緊迫化を受けた買いだめ需要が影響したとみられる」と分析。

◆1～3月の実質GDP、年率1.56%増予測 日経センターまとめ

・日本経済研究センターは民間エコノミストの経済見通しを集計した5月の「ESPフォーキャスト調査」を発表。1～3月期の実質GDPの予測平均は前期比年率で1.56%増。前回の3月調査から0.08ポイント上振れ。輸出は予測平均で前期比1.06%増を見込む。前回調査(0.59%増)から上方修正。個人消費は0.16%増、設備投資は0.12%増の予測平均。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ノーリツ、1Qは減収減益 国内は非住宅好調も原価悪化

・ノーリツが発表した2026年12月期第1四半期連結決算は売上高が516億円(前年同期比2.3%減)、営業利益が16億円(同16.4%減)となり、減収減益。一方、投資有価証券の売却益44億円を特別利益に計上したことにより、純利益は44億円(211.6%増)と大幅増益。国内事業は売上高366億円(1.2%増)と増収。営業利益は14億円(9.3%減)と減益。

◆住宅購入検討者、「新築希望」2019年以降で最低に 価格高騰で中古シフト

・首都圏を中心に住宅価格の高騰が続くなか、今後の値上がりを見込んで購入を検討する人が少ない。リクルートが発表した「住宅購入・建築検討者調査」の2025年版によると、新築を希望する割合は63%と過去7年間で最も低かった。住宅価格の高騰で中古マンションなどに需要が流れているよう。

◆ダイキンと野村不動産が空調機リサイクル 銅やアルミを高純度で回収

・ダイキン工業と野村不動産は空調機の素材をリサイクルする実証を始めたと発表。ダイキンが使用済みの空調機を分解したうえで再利用。従来、産業廃棄物処理業者が一括処理していたのに比べ、より高い純度で銅やアルミニウムを回収可能。野村不動産の所有するビルを解体したり、空調を更新したりするときに使用済みの業務用空調機を引き取る。

《 注目商品 》

■荏原、給水ユニット「フレッシュャー3100NEO BN-MG型」ラインアップ拡充

・給水ユニット「フレッシュャー3100NEO BN-MG型」の機種数のラインアップを拡充し、幅広いニーズに対応。0.75kW、3.7kW(65口径)、5.5kW、7.5kWのラインアップを追加。設置条件や設備規模に合わせた機種選定がこれまで以上に可能。



■ツインバード、「感動シンプル」ラインより「コードレススティック型クリーナー」

・まとめて行う掃除から、気づいた時に手軽に行う掃除へと変化。ごみ捨てやブラシのお手入れまで含めた使いやすさが重視。こうした背景を踏まえ、「掃除も、お手入れも、もっと手軽に」をコンセプトに、コードレスのスティック型クリーナーを開発。



■プレイリーホームズ、ビス固定不要のデッキシステム

・独自のクリップ固定方式を採用したデッキシステム。専用の溝加工を施した木材をアルミレールのクリップにはめ込むだけの簡単施工で、従来工法と比較して施工時間を約53%短縮。デッキ材のビス固定が不要なため、表面に穴がない美しい仕上がりを実現。

